

第12回議会報告会結果報告（北部会場）

日 時	平成30年11月18日（日）午後3時00分から午後5時00分まで		
場 所	北部公民館		
参加人数	住民参加者 23人 議員 8人 事務局 1人		
地元協力団体	須賀川区		
議員役割分担表	総括責任者 小林克彦 司会進行 布施谷裕泉 常任委員会報告者 総務産業常任委員会 山本光俊 社会文教常任委員会 児玉信治 広報常任委員会 湯本晴彦 議会運営委員会 湯本晴彦 記録者 徳竹栄子 出席議員 山本光俊・湯本晴彦・布施谷裕泉・徳竹栄子・児玉信治・小林克彦 高田佳久・西 宗亮		
次第（担当者）	1. 開 会 司会者 布施谷裕泉 2. あいさつ (1)主催者 議長 西 宗亮 (2)共催者代表 須賀川区長 山岸正幸 3. 報告事項 (1)議会常任委員会等報告 ①総務産業常任委員会 山本光俊 ②社会文教常任委員会 児玉信治 ③広報常任委員会 湯本晴彦 ④議会運営委員会 湯本晴彦 (2)質 疑 4. 懇談事項 意見交換会 5. 閉 会 司会者 布施谷裕泉		
議会に取り組んでほしいこと結果（シールアンケート）	①観光商工振興策 1名 ②農林水産業振興策 1名 ③子育て・教育施策 3名 ④高齢者・障がい者・健康福祉施策 9名 ⑤都市基盤・生活環境の整備（上下水道・道路・側溝など） 5名 ⑥行財政運営・行政サービスの向上（税・窓口など） 4名		
意見交換会での質問と回答	質問 信濃町議会との意見交換会の報告に議員のなり手不足について協議した内容を知りたい。 回答 どの議会も同じ悩みを持っている。サポーター制度を取り入れ行政に関心を持ってもらう方を育てる取り組みや、報酬の検討、多くの町民にかかわりや興味を持って参加しやすい取り組みとして通年議会、夜間議会について協議した。 質問 サポーター制度とは何だかわからない。 回答 各地区から何名か選出をし、議会に対し意見や提言をすることができる制度で、行政に関心と意欲を持つ人材を育てることにつながるとされているもの。この制		

意見交換会での
質問と回答

度で飯綱町では、実際に当町から飯綱町に嫁いだ女性が議員になった。当議会でもこの制度などの議論を始めようとしているところ。

質問 抽象的でなく、議員の皆さんの本音や心意気、やりがいなど、広報で町民に知らせ、選挙に手を挙げる勇気を持たせる方法を考えたらどうか。

回答 引退を考え後継者を探す中、若い方は仕事・子育てで難しい面がある。定年者、自営業の方々が区・行政に興味がある方をお願いしても誰も受けてくれない。さらに後任者擁立に向け努力している。
そんな現状である。

質問 前回無投票、来期の選挙に向け後継者を探す行動に努力している議員はいるか。

回答 女性議員を一人でも多く増やすために各団体のリーダーや役職を経験した方々に是非選挙に出てほしいと常に声をかけているが難しい現状。

回答 仕事と議員の両立の難しさを感じている。自分から大変さを感じさせないように心がけ議員になる不安を持たせない努力をしていく。

回答 議員はやる気を持って気概があればできると考えている。

質問 楽ちんバスについて、3ページの表の合計に疑問がある。
本格運行の中、夜間瀬駅での乗り換えは不便、利用者の最も多い病院行き 1~2便ルートに工夫をしてほしい。

回答 3ページの表合計数字はチェックミス、後日訂正する。運行不備について議会でも審査意見や一般質問でも町側に要望している。しかし、視察に行った中津川市のコミュニティバスも市町村をまたいで運行されていない。当町と同じである。接続しないでいけるように議会としても働きかけていく。

質問 楽ちんバスの回数券を役場総務課での販売だけでは不便である。地元で販売してほしい。行政として住民のために何か方法を考えるべきと思うが。また、中野への乗り入れも行政側のしぼりが住民側には不便を強いられている。誰のための行政なのか。

回答 一般質問でも乗り換えせずに中野へ1日1便だけでも病院行きを要望しているが、現状は難しい。今後は広域的観点や県北信振興局が中心となり公共交通対策会議の中で検討されていく動きもある状況。是非とも高齢者、住民のための楽ちんバスにしていきたいと考える。

回答 改善点は色々あると思うので皆さんの声を議会として行政に働きかけていきたいと考える。

質問 広域的観点からせめて中野へ1日2便だけでも運行するよう進めてほしい。県や町に理解を求めてほしい。

回答 切実な要望として受けとめる。

意見交換会での
質問と回答

質問 回数券の販売について J A が北部公民館に木曜日に出張に来ているので J A で販売可能ではないかという要望に対し行政懇談会では J A に断られたとの町の回答に対し納得できない。どんな交渉をしているのか、どうも行政に真剣味がない、行政に要望して頂きたい。

回答 色々な手段を考えていくように行政に要望していく。

後日回答

31 年 1 月 7 日から北部公民館で回数券が購入可能。
(総務課：広報伝言板 12 月 25 日発行に掲載)

質問 当町に信州型自然保育を取り入れてほしいと 2～3 年前から要望してきた。視察や県の出前講座で勉強され 29 年の決算審査意見でも議会は興味を持っていると感じた。感想をお聞きした中で何がどう素晴らしいのか、それをする事により子供達の教育がどの様に向上するのか、そんな点を町民に説明してほしい。町は、あまり積極的でないようだが今後、議会では町に対してどう進めていくのか。また、西小学校の教頭先生がこれからの教育方針は、子供中心の学習方式に変わるという話をした。つまり乳幼児期から「気づける」子供を育てなければ学習がすすまない。「気づける」子供を育てるにはやまほいくが必要と考えている。やまほいくについてどの様に考えているか。お聞きしたい。

回答 自然体験や生活体験そして地域との交流をすることで子供の自己肯定感を高める成果がある。一つの事例として信濃町ではやまほいくの認定許可申請の時に、今までやってきたことを記入した。また当町と違うところは、保育・教育が教育委員会で一貫して行っている。そのためスムーズな情報交換や業務移行が行われていた。
信州らしさを育てていきたいと県は考えている。

質問 10 ページの可決と趣旨採択とあるがどういう意味か、またどうしてこうなったのか、可決とどの様に違うのか。

回答 趣旨には賛成なのだが一部内容に賛成できないから趣旨のみ採択である。国に 30 人学級を推進を求めているが長野県では 35 人学級を実施している。県に基準をあわせるべき、また実現性に無理があると判断した。
ゆえに陳情内容に対し願意は理解するが 100 パーセント可決と出来ないと言う採択の結果。発議で 35 人学級の意見書を提出した。

質問 義務教育費国庫負担制度の採択結果の趣旨採択について。

回答 義務教育費国庫負担割合が 2 分の 1 から 3 分の 1 に引き下げられた。その分交付税措置になった。地域に即した教育予算配分を求めたのは町村議長会を含む地方 6 団体であり、その主張に矛盾する。教育費の確保は必要であり国の負担割合を 2 分の 1 に戻すことは実現性に確信が持てないと判断した結果の採択。

質問 屋内ゲートボール場の使用料は、通年 2 分の 1 補助である。しかし、暖房費は全額負担である。何とか 2 分の 1 にしてほしい。

回答 町へ要望を伝える。

意見交換会での
質問と回答

質問 北部はイノシシの被害が多く大変困っている。8ページの有害鳥獣捕獲状況を見ると南部では12頭、北部は0頭、どうして南部では捕まえているのか理由を教えてください。

回答 南部で多く捕獲されている理由は詳しくはわからないので後日回答させていただきます。

後日回答

資料集計時点（H30.10.10現在）でのたまたまの結果である。
例年は、年間を通じ各地区において同数程度捕獲されている。（農林課）

質問 特別養護老人ホーム「高社の家」に高社寮の職員がほとんど移動したが、待遇が悪く辞めているため職員不足が生じサービス低下や稼働率も低下し70パーセント位になっている状況とのこと。入所待ちの中まずい現状と考える。視察時の職員との懇談会ではこのような話はどのようにされたか教えていただきたい。

回答 視察時は主に施設・設備の完成度を見た。職員不足でサービスに支障をきたしたり稼働率低下等の説明はなかった。もし事実であれば広域の会議で質問し対応する。後日回答する。

後日回答

北信広域連合と高社の家では、年1回意見交換会を行うこととしており、今年度は昨年10月に実施した。その中で、入所率は82%となっており、待遇面については詳しく把握できないが、職員に不足が生じているため、入所者が定員に達していないとの話であった。（北信広域連合事務局）